

ひと・まち・自然

トラまち Press

Vol. 7
September 2021

（発行）三田町トラスたまちづくりの会



特集

みんなで守り育てる みどりの風景

民有地を活かしてみどりに包まれたまちへ

生態系のダイアグラムを描く
貝島桃代

せたがや散歩日和 第7回

みどり豊かな大正の郊外住宅地を訪ねる

田園調布駅～玉川田園調布～奥沢～自由が丘駅へ

結び言 第7回

太田兼照さん

おもてなしの心で人の輪を広げるお寺に

特集

みんなで守り育てる

みどりの風景

失いたくない世田谷の原風景のみどり、多くの人の手で花ひらくみどり、地域の人々の出会いを生み出すみどり、共に生きる幸せを結ぶみどり、世田谷のまちには、それぞれの物語をもたみどりの風景があらわにある。そしてこの風景のなかにも、それなしは語れないものがある。それは、みどりを守り育て地域の人々の姿だ。



葛多見五丁目竹山市民緑地の竹林。広い敷地に竹が並び、美しい様相を見せる。かつての世田谷を彷彿させる、みどりの豊かな原風景のひとつ。

みどりと人が
織りなす

とつておきの風景

かつて世田谷には、原風景が広が
り、竹林や雑木林、雑木林といっ
たみどりで覆われていた。人々みど
りに寄り添って暮らした。それは
まさに生活の根だった。しか

し、人口の美人が始まり、都市と
して開発が進み、潤えていったみ
どりもあつた。

現在、緑地の実にも潤が民有地
という世田谷では、なんとかしま
いと雑木や地味な竹にみどりが
失われてしまうことになる。そん
な雑木林や原森林などの「住宅地
のみどりを守る制度がある。それ
が、「市民緑地制度」だ。まさし
た場所は、人々の憩いの場として
活用され、地味に開かれていて
貴重な民有地のみどりを守り育
てていくと、世田谷の市民緑地
の数は徐々に増えてきている。そ
こでは、区民がボランティアとし
て、みどりの維持活動に参加して
いるというの、世田谷が誇りべ
き特徴のひとつだろう。

そんなみどりと人が織りなす、
とつておきの風景に出会いたく
て、4つの市民緑地を訪れた。





駅前ロータリーから見るイチョウ並木。開発当時の駅前、道路、生活が今に生きている。

駅舎がまちの象徴

田園調布駅から玉川浄水場へ

青葉の中を抜けていく線が、心地よい。近急な緑の田園調布の駅前に立ち立つ。みどりには囲まれた駅前には複々とした駅舎が建っている。駅前には、遠くまで通る駅前ロータリーの真ん中に、ドイツ風の民衆のような美しいドイツ風の駅舎。



1. 空が広いびくばく広場。2. ユニバーシティの前で案内人の小園玲子さんが話す。

このまちには、今も開発当時の理念が大切に受け継がれているのを覚える。

一、他のまちとなる如き建物

を建てさせず。

(二) 隣接は之を致す場合に

も建築費をもつたし、

これは、田園都市を摩川台

ができた頃の神主堂といわ

れる内容の一。現在の町並

み建設のよきものが、大正

時代にすでにこのまちにあったことは驚きだ。

田園都市多摩川台は、現

在の大田区田園調布駅と世

田台区玉川田園調布駅をい

う。大正12年(1923)に

理想の郊外住宅地として計画

策一帯の田園都市株式会社

が開発した時の名称、田園都

市多摩川台では、建築費も

敷地の5割以内と定められて

あり、みどりには囲まれた緑地が

あちこちに建てていたこ

とを造る美しい家だ。

同じ状況の街を建設したあ

たりか住宅表示は玉川田園

調布にある。少し早くて、

玉川浄水場のあたりが見えて

くる。この浄水場は、大正7

年(1918)に建てられた。

田園都市多摩川台のまが、

豊田谷区の中では早くから文

化的な生活を造るべきで

たのは、この浄水場をはじめ

とするインフラ整備と交通的

だったから。

こは台地の、国分寺崖

の麓に位置し、多摩川対岸

の小杉方面が見える。夜景

が美しい場所。浄水場に隣

接する開発が、ふい



道を開く樹木と建物が一体化した。散歩にはこんな発見もある。

玉川まちづくりハウス

【まがわまちづくりハウス】

1991年に民間非営利組織として設立。「自分たちのまちでは自分たちで暮らし」をモットーに、住まひと暮らし、身近な環境の改善や保全、子育てや高齢者福祉などに取り組んでいる。地域住民の活動や専門家として支援するとともに、区内の他のグループなどと連携して、住民主体のまちづくりを推進している。
http://www.tamamachi.org/



田園都市多摩川台の開発

【でんえんたまがわのいけいけい】

大正12年(1923)、済済一帯の田園都市株式会社、19世紀にイギリスで開発された(田園都市)の理念に基づいて開発した郊外住宅地。駅前広場を中心とした同心円状の街並に特色があり、生活や駅前に関する神主堂による緑地保護や地域コミュニティの発展活動も、現在でも多くは多い。



田園調布の田園調布



上ノ図はそれ以前の民衆風貌は、環境がアスファルト。下ノ開発当時の田園調布は、環境がアスファルト。

みどり豊かな大正の郊外住宅地を訪ねる

田園調布駅〜玉川田園調布〜奥沢〜自由が丘駅へ

大正時代に理想の郊外住宅地として開発された田園都市多摩川台。

海軍関係者が多く暮らす人だといふ奥沢の「旧海軍村」。

みどり豊かな住宅地には大正モダンの建物が今も残る。

今回は地域の住みよい環境づくりを志する住民の案内をお願いした。

玉川田園調布は小西玲子さん、奥沢は堀内正弘さん。



林・やぶ



ムカロシの葉を食べる
ミコソリナツチカムシ



ミコソリナツチカムシは
樹皮ではすく
めずらしい虫
なんだよ



ツツヤの命
土が見えるところも生きものにとっては大事なすみかなんだ。
特別に木の葉が落ちているところに目を光らせよう!



ハダクロトンボ
がいるよ!



ヤゴの成長になった
ハダクロトンボは
水辺に近い
林ややぶにも
いるんだ



これなあに?



これはねー



ハダクロトンボ



発見!!

木のまわり



ツツヤの命
下向きにめくれた
木の皮の中には虫がいるかも!
木の皮が割れ目のかき
役目をしているんだ。
木のすき間もそいでみて!



カタツムリ



みんなも
近くの公園を
たんけんして
みてね!



カタツムリ



ツツヤ

草地



ツツヤの命
低い草の上ではあみをふってあよう!
小さな虫たちが見つかるかも!



ダンヤウムシ



生虫
入ったかな



ツツヤの命
虫がいっぱい飛ぶのがいいよ。
葉っぱでうでや足を切ったり、
空にまき散らさずにね!

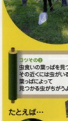
準備



生が好きな
場所って?
公園の草地
・葉が落ちていところ
・やぶ
・水辺
・木のまわり

達人「山さん」の
七つ道具

虫をかく「あみ」
見つけた虫を
包みこめる
「ノート」
葉っぱや
葉っぱに虫を
とる「たき火」
すき間にある
虫をとる「ピンセット」



たとえば...



クワガタムシ



トラスト子ども会員の
みんなと
生きものさがし!



林・草地
夏編



新連載
スタート!!



子ども生きもの探検隊



虫の達人 山崎裕志さんと行くある日の大森運動公園



いつもみんなが楽しんでいる公園には、たくさん生きものたちがくらしているんだ!



そんな生きものに会おうとしたツツヤがあるよ。



ハダクロトンボやクワガタムシ、カタツムリにも出会えるかも! 達人「山さん」が教える、生きもの発見のツツヤ。

さあみんなも家族や友だちときがふりに行こう!

讨论题

せたがや の 宝物

シロヨメナ

「キク科」

「隠れた美しさ」の花言葉が光る
林を慎み深く照らす白い花



秋の野を彩る花といわれれば、どんな花を思い浮かべますか？ ヒガンバナ、キキョウ、ハダシ、秋の七草を含め、挙げてみればきりがありませんよね。

しかし、そのなかでも私たちに一番ポピュラーな花、夕焼け空を優雅に染まっトングボが似合う、お馴染みのあの花に思いあたりませんか？ 被子植物のなかでも最も繁栄しているもののひとつで、世界中に約2万5千種以上の花が自生しているというキクの花です。日本には現在3500種ほどが自生しているといわれています。

キクのなかでも野草として分類されるヨメナの仲間、シロヨメナは、都会では見かけることが少なくなくなった野草のひとつです。区内では国分寺崖線上的大蔵三丁目公園の明るい林縁で見ることが出来ます。



春先に出る若い芽は、天ぷらや和え物、炒め物などにして食用にも使えます。9〜11月頃に咲かせるのは、繊細な白い花弁が清潔な直徑2cmほどの白い花。この花の花言葉は、「隠れた美しさ」。別名

上ノシロヨメナの花。気付いた者のみが、その美しさを知ることが出来る。下ノ山野草の保全には、多くの人々の手が運ばれている



種の鮮やかなキクの色とは場の違う、楚々とした美しさを醸し出すシロヨメナにびびったりの花言葉と言えましょう。
大蔵三丁目公園では、大蔵住宅自治会とトラストボランティアによる下草刈りを行い、林床を明るくすることで、シロヨメナのほかイナリンソウやウラボシマソウといった都会では貴重な山野草を保全しています。みなさんも小さな宝物たちを探しに、山野草散策に出かけてみてはいかがでしょうか。

ひと・まち・自然

トラまちPress Vol.7 2011年6月発行



発行／財団法人世田谷トラストまちづくり

編集／財団法人世田谷トラストまちづくり トラストまちづくり課

〒155-0031 東京都世田谷区北沢2-6-18 北沢タウンホール7階 Tel.03-6407-3311、3313 Fax.03-6407-3319

<http://www.setagayamtr.or.jp/>

編集担当
松井美穂

取材・文
太田真司 (p2〜7/p20)
小池良美 (p10〜13/p14〜17)

デザイン
compa

写真
佐藤隆幸 (p2〜p6)
松井純子 (p7/p10〜13)

イラスト
東田純子 (表紙/p20)
南 智恵 (p13)

©財団法人世田谷トラストまちづくり
2011 Printed in Japan
本誌掲載の写真・記事等の無断複製及び転載を禁じます。



世田谷区が定める「世田谷みどり
条例」に基づき、みどりの保全・
創出に努めています。